

# トコジラミのインフォームドコンセントについて

(公社)東京都ベストコントロール協会 理事・感染症委員長 渡邊 徹

トコジラミは施工事例報告も数多く上がり、効果が期待される薬剤、調査器具も上市され、かつてのような暗中模索の状態は脱した。

相談を受けても「海外に旅行したか、何か輸入品を購入したか」と問い合わせる必要もないほど日常的に発生し、消費者もネットを通じて「血糞」と口にするほど知識が向上している。しかし難防除であることに変わりはなく、1～2回の処理で解決する事例は少ない。施工方法も多岐にわたり、一般的なPCO業務と比較して高額な見積りとなり、依頼者からは「どうしてそんなに高額なのか」と指摘されることが多い。

依頼者の「知識」は都合の良いように編集されており、虫の名前や夜行性であるなどは理解していても、薬剤抵抗性、駆除の困難性までは理解しておらず、知識として正確性を欠いていることが多い。円滑に防除を進めるためには作業特性を正しく理解して頂き、解決までの目途と見積りの根拠を明示することにある。このために当該文書を用意した。利用にあたって留意頂きたい点を項目ごとに補足したのでご一読頂きたい。

## 1. はじめに

文書はまず生態の説明から始めている。不十分ではあるので、日本ベストコントロール協会発行のリーフレット「トコジラミQ&A」「トコジラミでお困りではありませんか」等を添付してより深く理解頂く。

## 2. お宅様の状況について

被害状態について、「深刻・中程度・軽度」と区別した。この判断については生息密度に加えて、依頼者宅の生活環境が整理・整頓され衛生的なのか、荷物が多く劣悪な環境なのかを考慮して頂きたい。「不衛生だから発生する。」は誤りでも「不衛生だと防除が困難になる。」のは事実であり、作業計画に環境的要素を反映させるために必要と考えた。

## 3. 防除の方法について

予算の制約により畳・布団の熱処理ができない事は多い。この場合「丸洗い」「廃棄」「包み込み法」等を提案し、可能な限り環境的防除を採用して頂く必要がある。予算の制約があまりにも大きい場合、「問題の解決」ではなく「被害を軽減する。」に目的を変更する必要がある。ここでの曖昧性や妥協はトラブルの原因となる。

## 4. 使用する薬剤について

有効な薬剤は限られているので選択肢は狭いが、臭気程度を十分に理解して頂く必要がある。生活空間への処理のため「油剤臭くて寝られない。」は起こり得る。

## 5. 殺虫剤の使用について

幼児・ペット・老人等殺虫剤弱者と分かる存在があれば、解決が長引くことを了解頂いた上で吸引・加熱・包み込み・冷却処理等を主とした省薬剤による処理を検討しなくてはならないだろう。

## 6. 作業回数について

多めにみて安全をとるか、少なく見積もって成約に注力するか判断の分かれるところであるが、ここでの正確性は技術力の高さを反映する。営業的な視点を外して技術的に適切な処理法・作業回数を提案してから依頼者と協議して、予算と摺合せて成約した結果をここで記入する。

## 7. 作業日程と内容について

予めすべての日程を記入はできないが、初回は熱乾燥した、2回目はしないという具合に、回を重ねるにつれて処理ポイントを狭め、作業時間も、稼働人工も軽減していく流れを理解して頂くため、予定する処理内容を示したい。

## 8. お願いする事項

布団熱処理ができない場合の丸洗い、衣類のクリーニング、不用品の整理は依頼者の努力による以外になく、これが達成されない場合は免責を主張できる。

## 9. 作業完了

痒みは生理的・心理的原因でも生じ個人差も大きい。「痒い・痒くない」だけを判断基準にすると終わらない。判断基準は複数用意して総合的に判断できるようにする。

## 10. 免責事項

この免責事項は単純でかつ重要であり「お客様にお願いする作業」が実施されない場合も免責事項に加えるべきと思う。

## 11. 予測される不具合

過去のトラブルから推定して列挙した。必要とあれば各社で追記して頂きたい。

## まとめ

懸命に作業したのに悪評を受けるのは悲しい。トラブルの原因は「口約束」から始めるからだと言っている。本書を叩き台として各社のオリジナルを作り、依頼者にも施工者にも利益となる作業計画を作成して頂きたい。